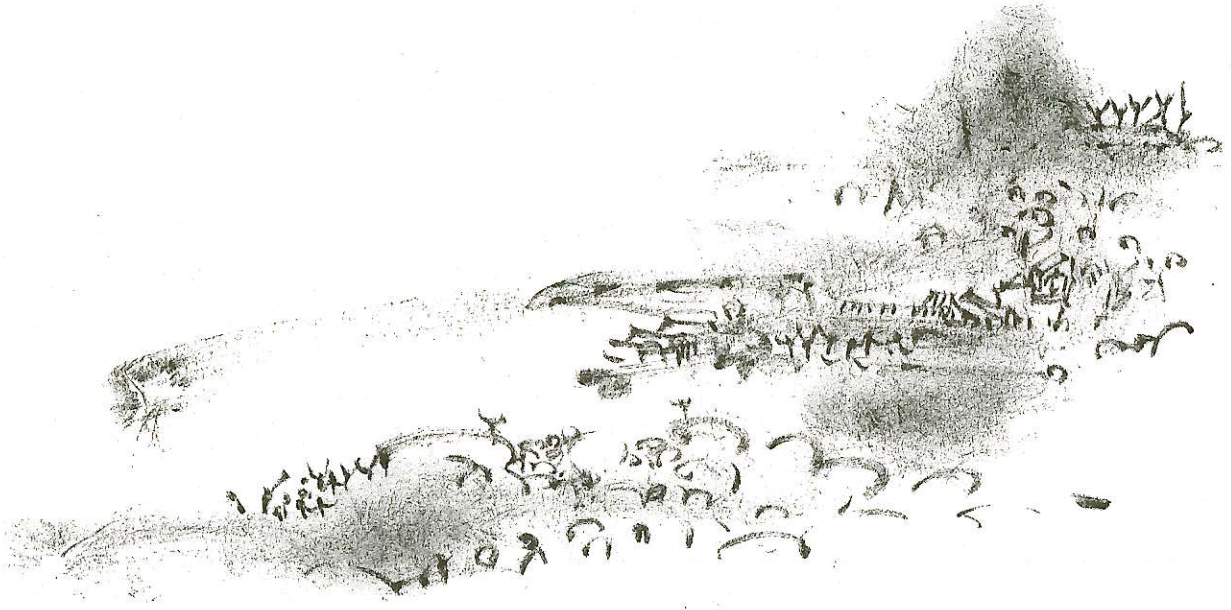




多摩辺

学校だより
昭島市立多摩辺中学校
校長 相部公太郎
令和4年10月26日

文化を継承する 【合唱コンクール表彰式後の言葉抜粋】



賞を取った学級と指揮・伴奏者の皆さん、おめでとうございます。そして、全ての学級・指揮・伴奏者の皆さん、ありがとうございました。どの発表も素晴らしかったです。また、合唱コンクールの当日までの取組も、全ての学級が充実したものでした。

実行委員会は7回開催し、準備を進めました。学級では、先生を頼ることなく、実行委員が指示を出し皆が協力して、合唱練習に取り組みしました。そして、指揮・伴奏者をはじめ、家でも多くの練習を重ねた人もたくさんいたことでしょう。限られた練習時間の中で、学級で試行錯誤を重ねながら、それぞれに工夫して臨んだ結果、1年生は緊張しつつも力を出し切ろうという思いが伝わってきた合唱、2年生は1年生の手本となり、学級の一体感を強く感じる合唱、3年生は1・2年生の手本となり、3年間の実践が実を結んだ合唱、8組は多くの楽器を使い、気持ちをひとつにできた合奏となりました。

先日、引退されたスピードスケートの小平奈緒さんは、次のような言葉を残しています。「金メダルをもらうのは名誉なことですが、どういう人生を生きていくかが大事になると思います。」この言葉を、合唱コンクールに当てはめると、「賞をもらうことは名誉なことですが、どういう学校生活・家庭での生活（人生）を過ごしていくかが大事になると思います。」となります。

ですから、これからの音楽の授業で、さらにレベルの高い合唱や合奏を目指して努力したり、様々なことに自分の意思で学校や家庭で学び続けたり、学級で共に支え合い協力し合って、様々なことに取り組んだりすることが大切になってきます。そして、1・2年生は、手本である上級生を越えていくよう努力することが、多摩辺中学校の文化を継承することになります。今後も、よりよい行事・よりよい学校を、自分たちの手で創り上げていきましょう。